

代表質問

市政会代表

門議員

東山いこいの森について

Q 質問 北谷の東山いこいの森管理費への取り組みについては、先の全員協議会で全体の計画や道筋を立ててから取り組みをすべきとの意見があった。全体を特徴のある施設計画を立てて年次計画のもと整備するのがベターかと思われるが、市の方針を伺う。

A 答弁 東山いこいの森は、子どもたちが自然に親しみ、素朴な自然の中で生活する体験ができる場所である。また北谷町に存在する公的施設であるため、北谷町の活性化に寄与している施設でもある。そのため、施設の修繕・改修を行い継続して利用していくべきと考えている。

リニューアルにおいては豪華な施設に建て替えるのではなく、種々の素朴な体験ができる施設としてのリニューアル計画を基本と位置付け、利用者から要望の強い屋根付き施設と、焚きつけから入浴までの他では得難い貴重な体験ができると評判の五右衛門風呂を整備し、早期に効果を発揮したいと考えている。そしてさらに、施設の魅力を向上するため、既存の宿泊施設などの必要な修繕と共に、さらにもどのような魅力的な体

その他の質問
教育問題について
鳥獣害対策について
勝山ニューホテルの外壁について
かつやま恐竜の森について等

体験活動ができるかについても検討していきたいと考えている。

左義長まつりの混雑対策などイベントの対応について

Q 質問 左義長まつりでは、市内の駐車場が満車となり交通渋滞が発生した。このような、まちなかに入れないといった事態に対し、例えば西環状線を一方通行にして観光客の車を駐車させるといったような緊急事態での対応策が必要かと思われるが、市としての取り組みについて伺う。

A 答弁 今年の左義長まつりは、晴天で暖かく穏やかな2日間であったため約13万人が訪れる過去最高に近い観光客数となった。そのため、弁天緑地の駐車場は日曜日の昼には満車となり、また、えちぜん鉄道についても福井駅から座れないほど混雑した便があるなど、電車利用者は昨年の約2倍であった。

駐車場の確保や電車利用者の増加などの課題については、勝山左義長まつり実行委員会で話し合い、観光客の皆さんが安心して左義長に来ていただけるよう対応策について十分検討してまいりたい。

創政会・公明代表

松村議員

(仮称)かつやま恐竜の森リニューアル総合計画と県の観光方針との整合性について

Q 質問 福井県は平成26年度事業として、1年間をかけて長期の観光戦略を立案する。恐竜がこの観光戦略の大きな柱の一つとなることは明白であり、山岸市長が招集挨拶で述べた「(仮称)かつやま恐竜の森リニューアル総合計画」を考える上で、勝山市はあらゆる機会を得て県の長期観光戦略に参加すべきと考える。この点につき所見を伺う。

A 答弁 福井県が新年度「観光新戦略策定事業」を進める中で、恐竜については重要な要素として議論がなされるものと推察しているが、本事業の中では恐竜だけでなく、県内の様々な要素や地域の特質を考慮して方向性が検討されると思われる。そのため勝山市が特別に参画できるかどうか分からないが、もしそのような機会を得ることができれば、積極的に恐竜を活かした観光戦略について県と一緒に取り組む方向性を提案し、模索したい。

県の観光戦略のかなめは恐竜であり、その発掘地と研究展示施設は勝山市にある。この立地市である勝山

その他の質問
勝山ニューホテルの今後の在り方について
「ニューシニア」集大成としての日本エコマニエーション研究会全国会開催について
観光施策の枠組みとしての広域観光の可能性について

将来的な減反廃止政策を見据えた農業方針について

Q 質問 将来的な減反政策を見据えて、勝山市の農政の方針をどのように位置づけるのか。この点につき所見を伺う。

A 答弁 勝山市は総合計画において、認定農業者、集落営農組織等を核とし、兼業農家も集落機能維持に不可欠な存在と位置付け、調和ある持続可能な農業の振興を推進することとしている。また勝山市は中山間地域であり、すべての地域を大規模化・集約化することが難しい市でもある。よって勝山市にとって調和ある持続的な農業の振興を図る中で、国の制度を有効に活用できるところは積極的に活用していく。